

# 植栽環境の維持改善について

シーアイハイツ和光管理組合  
植栽委員会 委員長 田中 利道

日頃、植栽委員会の活動にご理解ご協力を頂きありがとうございます。

35年以上を経た当団地の植栽は緑豊かな自然景観をもたらしてくれている一方で、大きくなりすぎた樹木のボリューム、過密な植栽環境による日照への影響等、大木による被圧や樹齢が嵩んできたことによる樹勢や樹形の劣化、過去の伐採により空間のままとなっている箇所、景観回復や伐採跡地にできた路地の雑草繁茂対策の必要性、大木化による根上がり等で樹木柵の変形や破損が進み、通行への障害や危険を及ぼす怖れがあること等、団地の生活環境へ負の影響が生じて来てまいりました。

この現実を見据えた上で、3年前から従来の伐採・剪定を中心とした植栽管理計画からの脱却が必要であるとの認識に立ち、植栽の世代交代を図ることによる植栽の若返りや植栽景観の回復を目指した計画を進めて来ました。

その一つが、一昨年度に実施された団地東側と北側（ホンダ側）植栽帯の修景計画であり、数年経てば秋には紅葉、春にはきれいな花が咲き誇り季節を追って花や紅葉をお楽しみいただけるものと思います。

その二つは、昨年実施された東側の大木化したヒマラヤ杉（8本）の伐採であり、跡地にはオタフクナンテンが植えられ、明るくきれいな景観が楽しめると共に、長年の懸案だった鳥糞・樹液・落葉被害からの解放が期待されます。

さて、本年度は、

- ①「美しい緑に囲まれた生活環境の維持」と「樹木による生活環境阻害要因排除」の調和、
- ②持続可能な樹木の育成環境の構築、
- ③補植等による団地景観の修復、

- ④適正な管理による美しい団地植栽の創造、
- ⑤フラワーサークルとの連携による効率的な低木・生垣等の育成と花壇の充実、
- ⑥最適経費の追求（最適間隔による剪定等の実施、優先順位の検討・整理による予算の圧縮）を基本方針として植栽管理を実施してまいります。

植栽委員会といたしまして、植栽管理を通じ団地住民の皆様の生活環境の維持・改善に努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



ヒマラヤ杉伐採跡地のオタフクナンテン



団地東側の現在の景観